

平成27年度 第3回教育委員会 次第

日 時 平成27年6月24日(水)
午後1時30分
会 場 井波庁舎 301会議室

1 前回の議事録の承認

2 教育長の報告

3 協議事項

(1) 平成27年7月補正予算の概要について

(2) 「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2015」に伴う井波図書館の開館時間延長について

4 報告事項

(1) 平成27年6月定例会一般質問等の要旨について

(2) 第11回南砺市小学校連合運動会について

(3) 平成27年度砺波地区中学校総合選手権大会について

(4) 五箇山景観条例の制定に向けて

(5) 夏季教職員研修実施要項について

5 今後の日程

次回教育委員会開催(予定) 月 日() :

平成27年度 教育委員会7月補正予算内示概要

■教育総務課

予 算 費 目	補正予算要求内容	内示額（千円）	摘 要
教 育 セ ン タ ー 費	【まち・ひと・しごと創生関連事業】 平成27年度「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持 向上に係る実証事業」 8,806	8,806	
	(教育総務課) 計	8,806	
== 教育費計 ==		8,806	

**「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2015」に伴う
井波図書館の開館時間延長について(案)**

27. 6/16

◆南砺市立図書館条例施行規則（一部抜粋）

（開館時間及び休館日）

第8条 図書館及び図書サービスコーナーの開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。ただし、館長が必要と認めるときは、南砺市教育委員会の承認を得て、開館時間及び休館日を変更することができる。

別表（第8条関係）、一部抜粋

名称	開館時間	休館日
南砺市立井波図書館	平日 午前9時30分から 午後6時 まで 土曜日、日曜日及び休日 午前9時30分から 午後5時 まで	月曜日、12月29日から翌年の1月3日までの日、館内整理日及び蔵書点検期間

1. 目的	4年に1度の「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2015」の開会式が、8月18日(火)、午後5時から井波図書館に隣接する井波総合文化センターで開催される。 これに合わせ開館時間を延長し、図書館の利用促進を図る。
2. 延長日	平成27年8月18日(火)
3. 開館時間	午前9時30分～ 午後8時00分
4. 展示物	過去6回と今回を含めた 全ポスター、リーフレット、招待作家写真とプロフィール・彫刻作品(写真)等の展示。 また、今月の展示本コーナー(7/24～8/30)には、「木彫りを通して世界をつなぐ 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2015」と題し、関連本の展示と貸出を行う。
5. 周知方法	広報なんと、南砺市ホームページ、南砺市図書館ホームページ、木彫刻キャンプホームページ、市内図書館館内掲示、ケーブルテレビ、ポスター・ちらし等
6. その他	①図書館を活用した街づくり、にぎわいづくり。地元イベントとの連携等 ②職員の勤務シフト調整で対応し、超過勤務は発生させない。

平成27年6月定例会 一般質問答弁（教育関係）要旨

平成27年6月11日（木）

古軸 議員（一問一答）

1. 教育環境について

①小・中学生を取り巻くネット環境について

ア) 小・中学生のネットの利用状況は

教育部長 子どもたちのネット環境や保護者の認識等を把握し、有害情報から子どもを守る指導や情報教育を推進するために、今年1月から2月に小学校5・6年生と中学生、保護者を対象に、携帯電話等の利用に関する意識調査を実施した。

ネットの使い始めは小学校中学年が多く、高学年では30分以上、中学生になると半数以上が1時間以上使っている。中学生の就寝時刻が遅くなる理由が見られる。

また、ネットの利用の多くは、「ゲーム」「音楽や動画の閲覧・ダウンロード」である。中学生になるとLINE（ライン）等が多く使われている。保護者が思っている以上にFacebook（フェイスブック）やTwitter（ツイッター）等が多く利用されている。

イ) ネットを媒体とした「いじめ」や「トラブル」の現状と今後の傾向は

教育部長 小学生ではトラブルは起きていないが、中学生になると「迷惑メール」に関するトラブルが増えている。中学3年生では半数近くが何らかのトラブルを体験している。

中学生の約6～7割が利用するメールやLINEによる見知らぬ人との交友関係トラブルや中学3年生の3人に1人が行うフェイスブック等によるネット上への書き込み等の投稿による個人情報の流出について危惧している。

ウ) ネットのトラブルから小・中学生を守る対策は

教育部長 子どもたちがネット社会と付き合うためには、大人が内容を理解し適切に助言することが大切なこととなっている。

意識調査では学年が上がるにつれて、ネット等を利用することが勉強の妨げになると心配している。その反面、心配なことはないと考えている子どもも3割程度いる。

学校では、ノーメディアデー等を実施し、児童生徒向けのネットトラブル

防止研修会やP T Aと連携した携帯電話等の実態調査に取り組み、子どもたちがネット依存症に陥ることなく、正しく向き合うことができるよう努めている。

しかし、学校だけでは、子どもを犯罪や危険から守ることはできない。学校やP T Aが開催する、情報を使いこなす能力に関する研修会等に、保護者自らが自覚を持って参加し、情報モラルの在り方を理解して、子どもたちに正しく情報を活用していく見本を見せなければならない。議員指摘のとおり、情報機器等の使い方について家庭内で約束事を決めるなど、話し合っていくことが必要である。

教育委員会としては、学校やP T Aと連携して子どもたちを見守り、指導していきたい。

②教員の負担軽減策について

ア) 現状の教員数について

教育長 市内の教員は、小学校162名、中学校127名の計289名で児童生徒の指導に当たっている。

さらに、市単で複式学級指導講師として2名、学校栄養職員1名、「なんとっ子学びサポーター」を21名、「スタディメイト」を25名、「適応指導員」を11名、「図書館司書助手」を12名、外国語支援講師を2名配置し、児童生徒へのきめ細かい指導と教員の負担軽減につながるよう人的配置をしている。

イ) 教員の勤務状態について

教育長 市内の教員は、子どもたちの健やかな成長を願って学習指導や生徒指導、部活動指導を朝早くから夜遅くまで職務に取り組んでいる。

近年、地域や保護者からの要望も多くなり、教員の職務が増えている。こうした要因から教員の多忙感も増している。

ウ) 教員の負担軽減策について

教育長 教員の負担を軽減していくことは、重要なことだと思っている。

教育委員会としても、校長会等を通じて会議や事務作業の見直しや削減を指導している。また、教員が児童生徒と寄り添う時間を確保し、負担軽減となるよう、今年度から夏休みの作品応募の集中を防ぐため、教育総務課が窓口

となって取りまとめなどを行っている。

最近、各種団体から、児童生徒への行事への参加・協力要請が多くあり、教職員の負担増につながっている。

エ) 夏休み期間の考え方について

教育長 市学校管理規則により、夏季休業日は7月25日から8月31日まで、冬季休業日は12月24日から1月6日までの期間となっている。

授業の充実については、冷房設備の問題ではなく、授業内容や指導法によるところが大きい。また、登下校の安全にも、冬休みを長くとることで危険を回避できるとは思えない。

このようなことから、現段階では、休業期間の見直しは考えていない。

オ) スポーツエキスパート派遣事業について

i) 派遣事業の内容について

教育部長 スポーツエキスパートとは、部活動の顧問と連携し専門的な技術指導を行う指導員である。

県は、運動部活動の充実、生徒の体力向上及び地域社会と運動部活動との連携を図るため、市町村が行うスポーツエキスパート派遣事業に対し、補助金を交付している。

現在、運動部に対し、県補助52名、市単10名のスポーツエキスパートを派遣している。

この補助金の対象となる条件は、運動種目を限定せず、派遣謝金として、1回当たり2,000円で、年間24回を限度としている。補助率は補助対象経費の3分の1以内となっている。交通費程度の謝金であり、エキスパートのボランティアによって支えられている。平成26年度実績では、補助対象経費241万8千円で、そのうち、県補助金が80万6千円となっている。

ii) 事故における責任と保障について

教育部長 指導者に対しては、市負担で公益財団法人スポーツ安全協会のスポーツ安全保険に加入しており、平成26年度はスポーツエキスパートへの傷害保険の支払実績はない。

中学生は、独立法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入している。

iii) 後継者と支援について

教育部長 平成26年度のスポーツエキスパートの平均年齢は、43.6歳となっており、うち25名がスポーツ少年団も指導している。

市体育協会やスポーツ少年団では、後継者の育成の面から、指導者の養成と確保、資質の向上を目指して各種研修会や講習会への参加を促している。これらの受講料は、市体育協会が負担している。

また、著名なスポーツ選手を招いての講演会や医療・科学の知識や発達段階に応じたトレーニング法を学び、活動に取り入れるよう努めている。これらの経費は市体育協会や関係団体で負担している。近年では若手指導者の不足が課題に挙げられている。

市としては、生涯スポーツ社会の実現を目指す「人づくり」を大切にしながら、各種講習会等の情報提供や指導者講習会等の開催に向けて指導・助言に協力したい。

また、市内のスポーツ関係団体との連携を図り、各団体の指導者情報の共有や利活用の促進等、より質の高い指導体制の確立に努めていきたい。

iv) 指導力向上への取り組みは

教育部長 県スポーツエキスパート派遣事業において、スポーツエキスパートは、県教育委員会が主催するスポーツエキスパート研修を受講しなければならない。研修目的は、運動部活動の指導に必要な知識や指導方法等についての資質向上を図るものである。

今後も、中学校を通じ、スポーツエキスパートに参加するよう要請していく。

③今後の教育環境の整備や教育施策について

教育長 南砺市教育振興基本計画の教育目標である「未来を切り拓く南砺の人づくり」の実現に向け、「確かな学力の育成」「自他を尊重し、他を思いやる心の育成」「健やかな体の育成」「学校教育環境の整備」の基本施策に基づき、教育施策の遂行や教育環境の向上を図る。

教育施策の主な取り組みは、「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを愛する児童生徒を育む。また、幼・保小中の12年間を見通した教育の実現を目指して、幼・保小の連携や小中一貫教育を視野に入れた乗り入れ授業等を充実していく。さらに、学力向上に向けた取組

みを推進するため、標準学力検査NRTの実施とともに、全国学力・学習状況調査の採点委員会を設け、いち早く結果を分析して改善策を講じたい。

議員指摘のとおり、今後も児童生徒の学習のつまずきを解消するために「なんとっ子まなびサポーター配置事業」を継続し、さらに、サポーターを効果的に活用していくとともに、時間数を増やすことも検討していきたい。

学校教育環境の整備の主な取組みとしては、小学校・中学校の小規模校について、小規模校のメリットを生かし、ICT機器を導入し他校との遠隔協働学習を計画的に実施するなど、デメリットの解消に向けて今年度より実証研究を開始する。また、安全・安心な教育環境の確保及び地域コミュニティの拠点形成のため、引き続き、小・中学校の長寿命化改修により、快適な教育環境づくりを推進する。さらに、小・中学校のグラウンドの整備も促進する。

このような取組みのもと、学校・家庭・地域が果たす役割を明確にし、支え合うとともに、子どもたちの個性や能力を伸ばし、自分を生かす教育を目指したい。

2. 伝統・文化の担い手やその継承について

市長 市内の旧4町には、それぞれ屋台と庵唄が伝承されているが、いずれの庵唄も後継者の育成と技術の向上が課題となっており、課題解決のために、国の指定を受けている城端の呼びかけで、旧4町が「庵唄伝承保存活動協議会」を組織し、中央の一流講師を招いて指導を受けられた。

市としても支援することとして、継続した取り組みによる成果を期待したい。

伝統・文化の継承には担い手・後継者の育成が不可欠で、人を育てるためには相当の時間がかかることから、市では、それぞれが行う主体的な取組みに対し、補助金のほか各種助成制度等も活用しながら、今後も支援していきたい。

得永 議員（一問一答）

3. 南砺市内のピークシフト省エネシステム等の整備に関して

①ピークシフト省エネシステム等の整備に関して

イ) 各教育施設・各行政センター・観光施設・各民生施設・各建設施設・各ケア施設等は

教育部次長 電力消費のピーク対策の考え方として、電力消費のピークの時間帯から他の時間帯に電力需要をシフトさせるピークシフトと、ピーク時における電力の需要そのものを抑制する対策のピークカットがあると考えている。

また、ピーク対策に有効なものは、蓄エネルギー機器と自然エネルギー機器が効果的である。

電力需要の多い学校施設では、ピークシフト省エネとして、深夜電力を利用した蓄熱暖房機等を城端小学校、福野小学校、上平小学校、平中学校、福光東部小学校の5校で使用しており、ピークカットに有効なデマンド監視装置も併せて設置している。

自然エネルギーの利用については、福野小学校では、太陽光発電装置を設置し、平中学校や上平小学校ではハイサイドライト（横から光を取り入れる天窗）、福光東部小学校では、ナイトパージ（夜間換気）を考えたアルミサッシなどを取り入れている。今後、長寿命化改修を実施する小中学校については、各施設の改修工事のモデルとなるよう、更に省エネルギー化を進めていきたい。

中島 議員（一問一答）

1. 教育に関して

① 35人学級について

ア) 国の制度として小中学校を35人学級とするよう国に強く要望せよ

教育長 市内35人以下の学級状況は、小学校87学級のうち、74学級の85%が、中学校では44学級のうち、29学級の66%が、既に35人以下の学級規模となっている。今後も、1学級における児童生徒数が減っていく傾向にある。

県では、35人以上の多人数学級を有する学校に対し、少人数指導を専門的に行う教員を配置している。今年度、市内の小学校では8名、中学校では7名が配置されている。「ティーム・ティーチング指導」や「少人数指導」等、児童生徒がわかる、喜びを味わうことができるよう授業づくりに努めている。

これまでも、全国都市教育長協議会や全国小学校長会、全国中学校長会等をとおして国に要望しているが、国の35人以下学級の取組みはなかなか進んでいない。引き続き、各方面を通じて働きかける。

②教科書検定について

ア) 今後、採択地区の教科書展示がなされ、教育委員会で教科書の採択が行われる。歴史教科書に対する見解を問う

教育長 教科書検定については、教科書の発行に関する臨時措置法第2条に、「教科書とは文部科学大臣の検定を経たもの又は文部科学省が著作の名義を有するもの」と明記されている。したがって、国において十分な調査研究を行い、適切な手続きを踏んで公平に検定されていると認識している。

小学6年生から歴史学習が始まり、学校で使用する教科書は、学習の基礎基本を培い、児童生徒が生きる力を育むための判断材料になるものだと考えており、慎重に採択作業を進めたい。

イ) 育鵬社と自由社の歴史教科書、育鵬社の公民教科書は、採択すべきではないと考えるが、見解を伺う

教育長 教科書の採択については、小矢部市、砺波市と共同採択を行っている。

3市で砺波地区教科用図書採択協議会を設け、学校の教員等の教科書調査研究員に加え、保護者等の意見が反映されるよう保護者代表も含めた協議会の場で検討を重ね、教育委員会に答申している。

そこで答申を受けた教科書について、教育委員会の権限と責任に基づき、更に協議を重ね、採択する教科書を最終的に決定したい。

したがって、特定の教科書に関して見解を述べる立場ではない。また、特定の出版社の教科書について、議会で議論すべきではない。

③学校給食費について

ア) 保護者の生活状況・経済状況を、就学援助の支給も含めて、どのように捉えているか

教育部長 小・中学校全体の保護者の生活状況・経済状況を知るための所得等の情報は、個人情報保護があり、本人の同意がないと確認することができない。

しかしながら、議員指摘のとおり、就学援助の認定者は、小・中学校併せて平成24年度は226名、平成25年度は232名、平成26年度は244名となっており、増える傾向にある。経済情勢や家庭を取り巻く環境の複雑化などにより、収入が安定しない家庭の増加が要因として考えられる。

なお、給食費の就学援助費の上限は、小学生は年間5万1千円、中学生は

年間6万円となっており、就学援助費でほぼ負担できるようになっている。就学援助費から直接納めている家庭もあるが、今のところ未納世帯はない。

今後も、就学援助については、学校を通じて全ての保護者に制度を周知するとともに、家庭の実態に応じた援助を継続したい。

イ) 学校給食費の保護者負担は、義務教育費の半分を占めている。学校給食費に対する保護者負担の軽減に配慮する必要があると考えるが、見解は

教育部長 平成27年度の給食費の保護者負担額の予定は、小学校児童1人当たり平均で月額4,969円、年額54,659円、中学校生徒1人当たり平均で月額5,975円、年額65,725円となる。

小学校児童数が2,408人で、年間総額1億3,260万円、中学校生徒数が1,334人で、年間総額8,811万円となり、合わせて2億2,071万円になると想定している。確かに、議員指摘のとおり、学校給食の無料化、あるいは保護者負担の軽減に取り組む自治体があるが、給食事業の運営は、法令に従い、調理業務の直営、委託にかかわらず、人件費や光熱水費、施設設備機器など食材費以外の全額を市が負担している。また、地場産食材を用いた「なんとハートフルランチ」では、食材費の半分以上を市が負担している。

保護者が納める給食費は食材費であり、全額が児童生徒に還元されるし、経済的な不安を抱えている家庭には公的支援制度があるので、学校給食法のとおり、保護者が負担するものと考えている。

いずれにしても、教育委員会としては、子供たちが安心・安全に給食を食べることができるよう、自校給食方式を貫いており、今後も、学校給食の円滑な運営に努める。

石川 議員（一問一答）

2. 福光高校存続に向けた市の応援施策について問う

①利賀国際演劇祭、スキヤキ、いなみ国際木彫刻キャンプなどの通訳ボランティアへの積極活用は。市内中学生海外派遣事業への高校生帯同助成などの施策により生徒のやる気を喚起し学科の魅力UP支援をしてはどうか

教育長 議員指摘のとおり、利賀の演劇、スキヤキ、国際木彫刻キャンプ及び合掌造り集落の場で、南砺福光高校国際科の生徒が通訳ボランティアを行った実績はない。各関係団体が必要に応じて通訳ボランティアを募集し、生徒の協力を得ることは、大変良いことだと思う。国際木彫刻キャンプでは、今年26

日まで英検 2 級程度以上の英語ボランティアを募集している。

しかし、招待作家等の通訳ボランティアを務めるには、英語を母国語とする作家が少なく、専門用語が多いことから難しい。

また、福光高校国際科の生徒派遣事業においても大人の随行が必要であるように、中学生海外派遣事業に同校生徒を随行者として派遣することは、海外で発生したトラブルの対処など、生徒たちにかかる負担が大変大きい。したがって、中学生の随行者となることは難しい。

市として、福光高校の存続については、県立高校の後期再編計画に関する情報提供等を県に求め、市民にいち早く伝えることが重要だと考えている。

高橋 議員（一問一答）

1. 井波高校跡地利用計画の大学サテライトについて

①大学名と、活用計画は

教育部長 井波高校跡地利用計画については、地域の人材育成や地域交流の拠点となる施設として、富山国際大学のサテライト室を計画している。部屋の大きさは、8×9mの学校の普通教室程度の部屋のほか、控室やトイレがあり、3月の全員協議会で説明した図面のとおりである。また、サテライト室だけではなく、多目的研修室や調理実習室などを活用し、富山国際大学の教育研究成果や知的資源を広く地域に還元する公開市民講座や講演会などを開催する予定である。

②富山国際大学と南砺市との現状は

教育部長 富山国際大学には、平成25年度6名、平成26年度7名、平成27年度4名の南砺市出身者が入学している。また、富山国際大学子ども育成学部の水上義行教授には、南砺市教育振興基本計画策定委員会の委員長として、尽力いただいた。

一方、議員指摘のとおり、社会福祉士の資格取得のため、富山国際大学子ども育成学部の学生を、平成24年度は地域包括支援センターに1名、社会福祉協議会に1名、平成25年度は社会福祉協議会に1名を実習生として受け入れている。

今後は、サテライト室の開設により、富山国際大学の学生に市が、介護、福祉や医療現場を提供し、研究成果を市民や市政に還元してもらおうなど、包括的連携協定の締結に向けて富山国際大学と連携を深めたい。

総務文教常任委員会（教育関係）要旨

平成 27 年 6 月 19 日（金）

○議案第 7 2 号南砺市立福光美術館条例及び南砺市棟方志功記念館愛染苑条例の一部改正について

齊藤委員 福光美術館の増築により附属施設が改変されるが、施設使用料を見直され、福光美術館と愛染苑との共通観覧料をなぜ廃止するのか

豊川部長 今までに共通観覧券が販売された実績がほとんどないことから、この機会に共通観覧券を廃止し、希望者に割引券を発券することで観覧者を優待していきたいと考えている。

○市政一般、その他

齊藤委員 南砺市での中 1 ギャップはどのような状況か。

高田教育長 中 1 ギャップは、中学校へ入学することへの漠然とした不安や友人関係がうまくいくかなどの心配ごとにより中学校への進学時に学習や生活の変化によりなじめず、不登校や問題行動となって表れるが、今のところ市内中学校では、ないと認識している。

齊藤委員 小中一貫教育もあるが、南砺市では幼保小中の連携で中 1 ギャップは克服できると思っている。視察に行った宮崎県えびの市の小中一貫では先生方の負担が大きくなることから、市単独で臨任講師を雇用し補強していると聞いた。南砺市ではどのような教育の在り方が相応しいのか十分検討していただき進めてほしい。

高田教育長 本市では、小中連携が進んでいると思っている。今年度から実施を考えているのは、2 学期から小学校と中学校の教員が打合せを行い数学あるいは英語科で中学校の教員が小学校に出向いて 1 回程度 6 年生に授業を行い、3 学期には教科を問わず、4～5 回小学校の担任の先生の補助をして、小学校の子どもたちと中学校の先生をつながりを持ち、中学校への受け入れ態勢を整えたい。

城岸委員 小中一貫に関する改正学校教育法が、17 日参院本会議で成立した。このことについて、本市にはどのような様に捉えているか。

高田教育長 本市では、小中一貫校については、時間をかけて地域や教員の声を聞きながら、校区を限って導入する時期が来ると考えている。

城岸委員 県は、教員配置数でも文科省のモデルよりも少ない。国のモデル並みに要望しているが、未だなっていない。南砺市が先導をきって、県の方向が変わるように頑張ってもらいたい。

終わりのあいさつの中で

田中市長 本市では、複式学級講師など、単独で教師の加配を行っている。また、現状を県等に話しながら要望していく。本市の教育振興基本計画にも小中一貫教育について盛り込んである。小中一貫については、全部の校区でできるわけではないので、できるところから進めていきたい。

第11回南砺市小学校連合運動会 入賞者(女子)

種目	順位	氏名	学校	記録
100m走	1	楠 麻佳	井波	15秒24
	2	城宝 陽菜子	福野	15秒44
	3	石崎 万葉	福光中部	15秒63
	4	城岸 美千花	利賀	15秒80
	5	野原 奈菜	井波	15秒97
	6	高野 明里	福光中部	16秒29
	7	藤田 璃子	城端	16秒57
	8	高桑 樹菜	福光東部	16秒61
80mハードル走	1	城岸 栄利花	利賀	14秒42
	2	古瀬 怜那	福野	14秒76
	3	山本 和加子	福光中部	15秒11
	4	児玉 菜々美	福野	15秒16
	5	石並 央梨	城端	15秒71
	6	広瀬 加奈	福光南部	15秒75
	7	高山 響	井波	16秒00
	8	高原 涼葉	福光南部	16秒89
走り幅跳び	1	宮崎 真都	福光中部	370cm
	2	本田 明莉	福光中部	347cm
	3	奥野 菜々美	福光南部	321cm
	4	原 陽向	福野	314cm
	5	小林 ひかり	井口	313cm
	6	森 花彩	井波	312cm
	7	黒沢 亜弥香	福野	312cm
	8	鶴居 成美	福野	305cm
走り高跳び	1	森田 真央	福光南部	1m15cm
	2	野原 園未	利賀	1m15cm
	3	竹部 理咲	城端	1m15cm
	4	白藤 慶	福野	1m15cm
	5	橘 あぐり	福野	1m10cm
	6	梧桐 綾乃	井波	1m10cm
	7	宮本 莉子	福光中部	1m10cm
	8	際 りりこ	井波	1m10cm
ソフトボール投げ	1	金田 莉子	城端	44m45cm
	2	清島 唯	福野	38m06cm
	3	吉田 帆奈美	井波	35m72cm
	4	林道 里佳	城端	30m83cm
	5	藤澤 亜弥	城端	30m64cm
	6	新谷 桃果	福野	26m47cm
	7	吉岡 怜未	井波	26m32cm
	8	前田 琉衣	井波	25m94cm
1000m走	1	湯浅 彩夢	福光中部	3分34秒55
	2	湯浅 えみり	福光南部	3分41秒48
	3	酒田 真衣	福光中部	3分42秒53
	4	安達 心乃花	城端	3分45秒82
	5	杉下 愛華	井波	3分46秒97
	6	久保 音乃	上平	3分47秒77
	7	山田 美弥	井波	3分49秒66
	8	川本 彩乃	井波	3分50秒35

第11回南砺市小学校連合運動会 入賞者(男子)

種目	順位	氏名	学校	記録
100m走	1	梶井 琉生	福野	14秒78
	2	市吉 明翔	福光東部	15秒01
	3	久保 恭平	福野	15秒20
	4	板橋 大	井波	15秒63
	5	北村 壮吾	井波	15秒72
	6	佐々木 仁誠	城端	15秒89
	7	川崎 優月	福野	15秒90
	8	北村 一星	福野	16秒12
80mハードル走	1	高田 峻輔	福野	13秒17
	2	佐波 涼太郎	福野	14秒42
	3	白岩 捷	福光東部	14秒51
	4	岩崎 開登	井波	14秒64
	5	石田 悠真	城端	14秒89
	6	石崎 馳	福光中部	14秒91
	7	岡田 涼我	福光中部	15秒16
	8	杉本 穂洸	福光東部	15秒60
走り幅跳び	1	井上 幹太	井波	391cm
	2	村田 照英	上平	385cm
	3	齊藤 舜	福光東部	384cm
	4	山本 拓海	井波	361cm
	5	浦井 優太郎	福野	350cm
	6	高田 遥心	福野	349cm
	7	北島 吉真	福光東部	342cm
	8	山口 京太郎	福野	340cm
走り高跳び	1	金丸 航大	井波	1m33cm
	2	中川 充稀	福光南部	1m33cm
	3	松川 健太郎	城端	1m25cm
	4	織田 倫充	福光東部	1m20cm
	5	石井 岳人	福光中部	1m20cm
	6	酒井 巧海	井波	1m20cm
	7	江田 光輝	福野	1m20cm
	8	橋本 陽	福野	1m20cm
ソフトボール投げ	1	橋本 唯塔	福光東部	53m60cm
	2	佐藤 颯哉	城端	53m38cm
	3	小西 翔陽	福光東部	48m70cm
	4	松永 瞬音	城端	46m48cm
	5	安田 裕翔	福野	45m99cm
	6	西川 航琉	福光南部	43m56cm
	7	久恵 柚希	井波	42m95cm
	8	野島 溪	福光東部	42m64cm
1000m走	1	井口 長洋	福光東部	3分18秒72
	2	高田 誠史	井波	3分21秒16
	3	藤本 優生	福光中部	3分21秒39
	4	杉本 裕貴	福光東部	3分27秒06
	5	岡本 虎太郎	福野	3分29秒59
	6	篠原 一星	井波	3分35秒79
	7	浦田 光野	上平	3分37秒84
	8	若林 拓哉	城端	3分38秒86

平成27年度 第53回 砺波地区中学校総合選手権大会結果

【団体の部】

No. 1

競技名	1位	2位	3位	4位	ベストマナー賞
陸上競技 男子	城端	庄西	吉江	平	平 福光 吉江
陸上競技 女子	出町	吉江	福光	城端	
陸上競技 男女総合	城端	吉江	出町	庄西	
バスケットボール 男子	出町	福光	吉江	福野	吉江
バスケットボール 女子	出町	般若	庄西	石動	出町
サッカー	庄西	井波	蟹谷・大谷		福野
野球	雨天のため、6月27日(土)に順延				
新体操	庄西				
バレーボール 男子	吉江	平	福野	出町	
バレーボール 女子	庄西	城端	庄川	井波	庄西
ソフトテニス 男子	出町	庄川	福光・城端		福光
ソフトテニス 女子	城端	庄川	庄西・石動		庄川
卓球 男子	出町	吉江	福光	庄西	出町
卓球 女子	出町	吉江	庄西	般若	出町
バドミントン 男子	出町	井口	庄西	福野	井口
バドミントン 女子	出町	庄西	井口	福野	庄西
ソフトボール	井波	庄西	庄川	吉江	庄西
柔道 男子	津沢	出町	福野・庄川		福野 出町
柔道 女子	出町	吉江			
剣道 男子	井波	庄西	庄川・城端		庄川
剣道 女子	庄川	津沢	庄西・出町		庄川
ホッケー 男子	石動	大谷	津沢		津沢
ホッケー 女子	蟹谷	石動	大谷	津沢	石動

【個人の部】

No. 2

競技名	1 位	2 位	3 位	
新体操 総合	佐藤陽奈(庄西)	中井望葵(庄西)	松嶋彩夏(庄西)	
〃 ロープ	佐藤陽奈(庄西)	中井望葵(庄西)	山井柚奈(庄西)	
〃 フープ	佐藤陽奈(庄西)	松嶋彩夏(庄西)	中井望葵(庄西)	
ソフトテニス 男子	藤井理央(出町) 山本 陸(出町)	尾山仁哉(福光) 水口穰太郎(福光)	東新之丞(出町) 柴田康樹(出町)	石崎 翔(福光) 高田 翼(福光)
ソフトテニス 女子	菊川里菜子(城端) 大井月葵(城端)	上田美沙希(城端) 大村 中(城端)	橋本華蓮(城端) 品川葉南(城端)	山本悠依(庄川) 藤森真依(庄川)
卓球 男子	老松陸斗(出町)	中澤暖人(出町)	館健太郎(出町)	館康太郎(出町)
卓球 女子	原 舞琴(出町)	川邊紗嬉(出町)	竹山美菜(吉江)	上坂凌香(福光)
バドミントン 男子 S	松村 怜偉(井口)	澤田 丈輝(出町)	山田篤之介(庄西)	笹川達也(利賀)
バドミントン 男子 W	中村優也(庄西) 幡谷祐樹(庄西)	三田悠生(井口) 松林克海(井口)	佐武諒一(出町) 高野龍太(出町)	吉田翔哉(井口) 今井柝介(井口)
バドミントン 女子 S	山本 采奈(出町)	古井 瞳(庄西)	前川 結香(井口)	金子 奈生(庄西)
バドミントン 女子 W	水上 舞(庄西) 高木陽香(庄西)	原野颯葵(出町) 松本由香(出町)	東 知里(井口) 北村友芽(井口)	梧桐愛月(福野) 澤田有伽(福野)
柔道 男子 50kg級	杉原龍之介(福野)	大坪勝路(出町)	清水誠弥(津沢)	栗山稜平(出町)
〃 55kg級	北川大樹(福野)	松井 陸(庄西)	溝口也人(福野)	金村拓海(庄川)
〃 60kg級	高橋佑輝(津沢)	吉澤泰輝(出町)	上山エイジ(石動)	大橋聖輝(吉江)
〃 66kg級	四ツ島颯(津沢)	奎野公思(福野)	浅野蔵人(出町)	成瀬 仁(福野)
〃 73kg級	柴田利樹(津沢)	石崎陽大(福野)	辻井恭輔(大谷)	今床 仁(庄西)
〃 81kg級	青嶋 優(津沢)	庄田優真(城端)	佐次秀斗(吉江)	竹内風起(庄西)
〃 90kg級	木地幸男(庄西)			
〃 90kg超級	中澤晟侑(出町)			
柔道 女子 40kg級	長澤美鈴(城端)			
〃 44kg級	西部 颯(庄西)			
〃 48kg級	中橋尚子(石動)			
〃 52kg級	福田茉穂佳(出町)	北川真衣(福野)	伊藤柚姫(庄西)	
〃 57kg級	鳥越早紀(出町)			
〃 63kg級	天池彩乃(吉江)	森田遥菜(吉江)		
〃 70kg級				
〃 70kg超級	齋藤あかり(出町)			
剣道 男子	山本 泰斗(庄川)	武田 将征(井波)	石川 凌太郎(井波)	藤永 勝(庄川)
剣道 女子	辻 乃々子(庄川)	松川 瑞穂(井波)	埴山 唯珠(庄西)	出村 咲羽(庄川)

競技名	1位	2位	3位	
水泳男子 50自	大門駿介(庄西)	小嵐亮(城端)	金木夏輝(出町)	
" 100自	高桑景寿(城端)	高橋悠貴(吉江)	大門駿介(庄西)	
" 200自	石井海人(福光)	高桑景寿(城端)	高橋悠貴(吉江)	
" 400自	石井海人(福光)	西川志築(城端)	澤田啓吾(庄西)	
" 100平	松田飛鳥(福野)	端克駿(石動)	野村大(出町)	
" 200平	石塚巧真(福野)	中川椋介(城端)	野村大(出町)	
" 100背	平野洋康(石動)	小嵐亮(城端)	酒谷駿大(福野)	
" 200背	平野洋康(石動)	伊藤奈希(城端)		
" 100バ	小神壱斗(石動)	松田純(福野)	金木夏輝(出町)	
" 200バ	小神壱斗(石動)	松田純(福野)		
" 200個人メドレー	宮本樹(城端)	松田飛鳥(福野)	川北雄大(吉江)	
" 400個人メドレー	宮本樹(城端)	川北雄大(吉江)	西川志築(城端)	
" 400メドレーR				
" 400R	城端	庄西	出町	
水泳女子 50自	坂中萌華(城端)	林清華(般若)	吉田真歩(庄西)	
" 100自	今田莉子(大谷)	林清華(般若)	西田有希(庄西)	
" 200自	今田莉子(大谷)	西田有希(庄西)	高戸美悠(庄西)	
" 400自	酒井柚香(城端)			
" 800自	酒井柚香(城端)	中島美波(庄西)		
" 100平	板橋結月(福光)	中村百花(津沢)	開田菜月(般若)	
" 200平	板橋結月(福光)	開田菜月(般若)		
" 100背	最上加奈子(石動)	高島唯衣(般若)	山本愛沙(庄西)	
" 200背	神田麗羅(福光)	高島唯衣(般若)		
" 100バ	坂中萌華(城端)	吉田真歩(庄西)		
" 200バ				
" 200個人メドレー	神田愛夢(福光)	岩崎央佳(出町)	最上加奈子(石動)	
" 400個人メドレー	神田愛夢(福光)	岩崎央佳(出町)	神田麗羅(福光)	
" 400メドレーR				
" 400R	庄西			

1 目的

「世界遺産マスタープラン」に示された、世界遺産の緩衝地帯における景観保全の方針・方策に基づき、緩衝地帯Ⅱ種区域である旧平村・上平村の全域において、世界遺産集落を取り巻く環境や景観を良好に保全することを目的とする。

2 条例策定の進め方

旧平村、旧上平村が制定し現在暫定条例となっている「自然環境及び文化的景観の保全に関する条例」を南砺市条例へ移行・改定する。このために庁内ワーキング・グループを組織し、内容検討を行ったものを関係機関・団体等の代表者や公募委員からなる条例策定委員会を設置して審議し決定する。

3 策定スケジュール

4月27日	庁内 W.G. 立上げ→以後毎月定期開催
6月下旬	定例教育委員会で策定趣旨説明
7月上旬	庁議、全員協議会で策定趣旨説明 策定委員の選考と依頼
7月下旬	策定委員公募 W.G. 素案作成
8月上旬	公募委員選考会、策定委員の委嘱
9月上旬	第1回策定委員会 条例案・景観計画案審議
10月上	第2回策定委員会（修正案審議）
11月上旬	全員協議会で条例の概要説明 （中旬 3回策定委員会 再修正案審議） 下旬 パブリックコメント
1月下旬	定例教育委員会で審議、確定
1月下旬	3月議会議案として提出
3月下旬	3月議会で審議
28年4月	条例施行へ

28年度の予定

4月	景観審議委員の選考・公募
5月	公募委員選考委員会・委員の委嘱
6月	景観審議委員会開催

南砺市教育委員会 会議・行事予定(6月下旬～8月上旬)

期 日	曜	時間	会議・行事	会場
6月25日	木	10:00	社会教育委員会・図書館協議会	井波庁舎 301会議室
6月25日	木	14:00	南砺市総合戦略審議会	福野庁舎 講堂
6月26日	金	14:00	第2回砺波地区公民館連合会研修会	井波文化センター
6月26日	金	15:00	中学校教頭会	井波中学校
6月28日	日	9:00	第11回南砺市民ボート大会「桂湖レガッタ」	南砺市桂湖ボート場
6月29日	月	9:10	学校訪問研修(吉江中学校)	吉江中学校
6月30日	火	10:00	総合教育会議	井波庁舎 多目的ホール
6月30日	火	17:00	校長会 市長との懇談会	花ごぜん
7月2日	木	9:15	定例記者会打ち合わせ	庁議室
7月2日	木	10:00	庁議	福野庁舎
7月2日	木	14:00	富山県へき地教育振興会総会	県庁
7月2日	木	16:15	永年勤続教職員等表彰伝達式	井波庁舎 多目的ホール
7月3日	金	15:00	小学校教頭会	上平小学校
7月4日	土	10:00	多摩美術大学美術館白石顕二アフリカコレクション展	福野文化創造センター
7月5日	日	13:00	南砺市消防団消防操法大会	砺波地域消防組合南砺消防署
7月6日	月	9:00	学校訪問研修(城端小学校)	城端小学校
7月6日	月	14:30	西部地区地方教育委員会連絡会総会及び中央講師招聘講演会	ホテルニューオータニ高岡
7月7日	火	13:30	議会全員協議会	福光庁舎全員協議会室
7月7日	火	16:00	7月臨時議会	福光庁舎議場
7月8日	水	9:00	小学校長会	福野小学校
7月9日	木	9:00	中学校長会	井波中学校
7月9日	木	13:30	定例記者会見	庁議室
7月9日	木	18:30	インターハイ壮行会	福野庁舎2階講堂
7月10日	金	10:30	まち・ひと・しごと創生総合戦略本部会議	福野庁舎3階庁議室
7月12日	日	13:20	富山県更生保護フェア	城端伝統芸能会館
7月14日	火	19:00	第68回富山県民体育大会出場選手壮行会	福野体育館
7月15日	水	14:00	南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2015 第3回実行委員会	井波総合文化センター
7月16日	木	15:30	南砺市総合戦略審議会	福野庁舎2階講堂
7月17日	金	10:00	豪農の館内山邸 復原・修繕事業完成記念式典	富山市
7月18日	土	17:00	第36回北信越国民体育大会ボート競技開会式、レセプション	春光荘
7月22日	水	13:00	南砺市女性議会	福光庁舎
7月26日	日	16:15	第65回社会を明るくする運動南砺市民大会・パレード	福光庁舎前～福光公園
7月28日	火		7/28(火)～31(金)武蔵野市児童 利賀訪問	
7月28日	火	14:00	南砺市総合戦略審議会	福野庁舎2階講堂
7月29日	水	9:00	中学生の主張発表大会	吉江中学校
7月30日	木	9:00	砺波地区教育長会議	砺波市役所庄川支所
7月31日	金	9:00	夏休み子ども議会開会式	福野庁舎講堂
8月7日	金	10:00	議会全員協議会	福光庁舎全員協議会室
8月7日	月	13:30	定例記者会見	福野庁舎